

## 水稻V溝乾田直播栽培の生育状況（7月10日現在）

### ■ 耕種概要等

- ① 品 種 まっしぐら
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種  
キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月28日
- ⑥ 播種量 乾粳 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度（LP100）



播種作業の様子

### ■ 生育状況



7月10日現在のイネの生育は、水深が浅い地点（8cm程度、写真左上）で草丈が72.3cm、茎数が875本/㎡、葉色値（SPAD-502）が30.6、水深が深い地点（13cm程度、写真右上）で草丈が74.1cm、茎数が725本/㎡、葉色値が32.6でした。

幼穂形成期の到達日は、前年と同日の 7 月 9 日です。生育は、例年より早く推移しています。なお、当圃場では葉色が低下傾向にありますが、労力の都合上、追肥作業を行わない予定です。

## ■ 栽培管理のポイント

- ・  $\text{m}^2$  当たり苗立数が目標苗立数 100~140 本/ $\text{m}^2$  を大きく上回った場合、生育が過繁茂になることで幼穂形成期頃の葉色が低下し、穂数や一穂粒数が減少して減収することがあります。
- ・ こうした場合、幼穂形成期に窒素成分で 2kg/10a 程度（硫安などの速効性肥料）を追肥することで、増収効果を得ることができます。

### 【令和 4 年度指導参考資料（一部抜粋）】

#### 津軽地域における「まっしぐら」を用いた水稲乾田直播栽培での追肥効果

- ・ 幼穂形成期の追肥により  $\text{m}^2$  当たり粒数が増加する。
- ・ 玄米千粒重は並～やや優り、登熟歩合は同程度となる。
- ・ 玄米タンパク質含有率はやや高くなるが、玄米品質は同等となる。

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/nosui/files/R4-ss1.pdf>